

自由が丘住区住民会議

(八雲3丁目・中根1丁目23～25番・自由が丘1丁目～3丁目・緑が丘2丁目)

平成13年11月30日発行

秋の行事で 地域の交流 活発に

おまつり広場 みやまえ

各地で様々な催しが行われる秋。行事を楽しみながら、地域の人々が知り合い、輪を広げていくよう願って、住民会議も活動しています。

10月14日、晴天にめぐまれ、今年も宮前小学校で開催。スタッフも含め延べ二千人が参加しました。石川靖英実行委員長は「何より皆さんのご協力に感謝したいと思います。緑ヶ丘・宮前両小学校、PTAの若い方達のパワー、幼稚園から中学生までの出演者・スタッフ、地域のいろいろな団体、機関や、各町会をは



じめ、皆さんに支えられてきています。地域で日常の交流、人間関係があるからこそ、都会でもこういう集りが可能です。来年もどうぞよろしく」と話していました。



女神まつり 地域交流事業

例年、住民会議が「自由が丘女神まつり」にあわせて、住区センターで行ってきた地域交流活動は、今年初めて地域交流事業実行委員会を発足して取り組まれました。当住区センターを利用する登録団体の「ミニ発表会」と「ティールーム・じゆうく」を10月7・8日に実施。500人程のお客様を迎えて好評でした。柳田実行委員長は「すぐに住民会議を知ってもらえただけでなく、まずこの場に親しんで頂き、発表の機会としても定着していけば」と語り、次回は参加団体と委員がもっと一緒に活動できるようにしたいということでした。



夏から秋までの行事を終えて

小中学校、2校ずつある特色を生かしながら年間の行事が行われます。各学校ごとに行う花火大会、キャンプファイヤー、自転車点検は、委員会に限らず町会・消防団・市民消防隊・消防署や碑文谷警察・自転車協力等多くの方々の協力から成り立っています。

又、絵画コンクールのように、地元商店街と共催のものもあり、暖かな援助をいただいています。和田村キャンプや飯盒炊きさんは、委員会がリードをしながら、実路や何回もの打ち合わせを経て、合同で行うものです。常日頃からの積み重ねが、行事をこなすたびにより強いきずなとなり、失敗をしながらも、それを次に生かせる大人たちのチームワーク！これらが、子どもたちの行事を通しての体験を支え、見守っています。なによりうれしいのは子どもたちの「笑顔」です。又、PTA、学校の先生方の協力も前向きで、ありがたいです。お互いに支え合いながら体験していく...これが地域行事の醍醐味でしょう。



滴

等身大の街

私が住区住民会議に期待を寄せているのは、環境問題や、車社会等の便利さと人間らしい住みかたのバランスの問題等、地域問題に等身大で取り組んでいきたいと思つたからです。

ここ数年ヨーロッパの街歩きをしてきました。が、住民にとってよい街が、必ずしも便利な街ではないことに気付かされます。街中は交通規制があり、地図では近くにいるのになかなか目的地へ車でアクセスできません。しかし車を手放して歩行者として一歩街に入り込めば、買い物やそぞろ歩きに適した街並が待っています。

また、この夏にアイルランドの小さい街に滞在する機会があり、等身大で街を捉えることについても考えさせられました。二十日間の短い期間にもかかわらず、川下り、山登り、展覧会など、近所の人達と日常の一環として気楽に楽しみました。一番印象的だったのは、野外音楽会です。子ども、車椅子の人、様々な人が分け隔てなく知り合いに出会おうのを楽しみに集まります。

このように住民の顔や雰囲気分かるような街では、等身大の問題に取り組むのは自然な事なのでしょう。

(山本秀代)

ミニミニ防災塾

13年度の防災住区委員会は、アクシデントに対応できる自信をつけるために、各種のことを繰り返しながら体験学習しています。三角巾の活用、心肺蘇生法、ゆるまない紐の結び方、お餅等がのどに詰まった時の異物除去法、どれも大切で、普段の生活の中でもひよっとしたら役立つことです。大事なことを分かっていても、ついつい通り過ぎてしまいがちですが、皆さんが体得したところが大切な家族の一命をとりとめることになる場合もあります。是非、ご参加ください。



防災活動で表彰

9月9日、救急の日付で、自由が丘住区住民会議が消防署から表彰されました。防災委員会が取り組んでいる応急救護の活動が評価されたもので、誰でも参加でき、繰



り返し学べるのがポイント。いざという時のため、みなさんもぜひ経験を。

自由が丘まち歩き

9月8日(土)、よりよいまちづくりを目指し、楽しみながら問題点を探ろうと、自由が丘のまちを歩く会が開かれた。自由が丘商店街振興組合や自由が丘住区住民会議も協賛団体となり、区民に広く呼びかけて、子供、学生から高齢者、車椅子の利用者も参加した。

総勢80人が5人位の班に分かれて、午前中は駅周辺の分担区域を歩き、昼は各班が好きな店を探して食事し、午後はまち歩きの感想や提案を発表しあった。

私も、感想などは機器を使って伝えられぬ女性の車椅子を押し、キンモクセイの香りがほのかに漂う生垣のある道、カラスのためにごみの散らばった歩道、横に傾斜のきつい歩道、自動車が多く行き交うのに立て看板のはみ出しや電柱で歩きにくく、危険を感じる道を歩いた。

(木村常在)



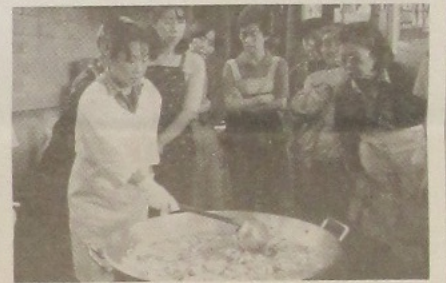
災害に備えて

自由が丘町会では災害時にテント大小2張り、大量炊き出し釜と発電機を買い備えました。去る9月、皆様にご披露かたがた地震を想定して給食配給訓練、初期消火訓練を実施いたしました。参加者73人。地震は突然に來ます。消防等各防災機関はすべての現場に対応はできません。自分の身は自分で守る、自分たちの街は自分たちで守る。いざという時に何ができるか?何をするか?第1避難場所の活動拠点の有効利用、効果的な活動を行うには等、いろいろの角度から考えてみる事も大事かとおもいます!

4台目の車椅子

地域活動委員会の年中行事として定着しているリサイクルセールは先日9月9日(日)に開催されました。天候も回復し、お客様の入りも順調で、目標である4台目の車椅子を社会福祉協議会に寄付が出来ることになりました。

出店に協力してくれた人、品物を買ってくれた人、それぞれお互いに喜びを感じて行事に参加しています。家の中に眠っている不用品が皆様のお



委員会活動予定(11月~3月)

月	活動	委員会
11月	・ミニミニ防災塾 (応急救護・異物除去編) (21日) ・鎌倉の自然を歩こう (25日)	防災 地域
12月	・寄せ植え (17日)	地域
1月	・書き初め (緑ヶ丘小・宮前小) ・もちつき (宮前小)	青少年 青少年
2月	・もちつき (緑ヶ丘小) ・リサイクルセール (17日) ・鳥の巣箱作りとバードカーピング (16日)	青少年 地域 環境
3月	・ペーパークラフト	地域

☆通年の活動については夏(83)号をご覧ください。バックナンバーは自由が丘住区センターにあります。ご自由にお持ちください。

ミニコンサート



役に立ってニコニコ。この地域の人々の交流の場を次世代につなげて行きたいものです。

9月29日(土)、宮前小

学校の体育館で宮前小学校PTA主催のミニコンサートがリサイクルフェアの収益で開かれました。演奏を聴かせてくれたのは、自主運営の吹奏楽

団グリーンアルファシニアフォニックバンドの皆さんで、児童たちや100人以上集まった保護者の方々は一時間あまり見事な演奏を楽しみました。

まちの掲示板

◇西部地区スポーツ大会 (グランドゴルフ) 11月18日緑ヶ丘小学校
◇駅前クリスマスツリー点灯式/12月2日/子羊幼稚園園児による清らかなクリスマスキャロルも
◇歳末、住区内では、各自治会ごとに防火防犯パトロールを行います。自由が丘町会27日/29日/緑が丘自治会27日/31日/宮前町会27日/29日/自由が丘商店街振興組合23日/28日/目黒消防団第10分団29日/31日
◇元旦祭/31日夜半/元旦早朝/熊野神社にて年初を祝う一大イベントが行われます。自由が丘商店街振興組合主催

編集後記

夏号が出てから秋号までの数ヶ月の間に、世の中は大きく変わりました。海外では「同時多発テロ」や「炭そ病」、国内では「狂牛病」騒動で多くの人が不安を感じ、また、子供を巻き込んだ事件・事故も多発しています。この住区では住民会議、学校、商店街が協力して防犯対策を行っています。これからも皆で力を合わせ、平穏な生活を保ちたいものです。(K)

発行 自由が丘住区住民会議
編集 広報委員会
(3718) 1195